

事業番号	09 04 20	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	自給飼料増産対策事業			担当課	部局	農政部		
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3夢に挑戦する農業				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
		2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産				実施期間	H21 ~	

1 事業の概要

目指す姿	輸入飼料に依存しすぎない畜産経営を目指し、栄養価の高い県オリジナル品種の作付けや飼料用稲の活用により、自給飼料の増産を推進し、飼料高騰に負けない畜産経営を確立する。														
現状(予算編成時)	○輸入飼料価格の高止まりにより、畜産の経営費に占める飼料費の割合が増大している。 ○また、畜産物の販売価格は横ばいのため、飼料コストのアップが畜産経営を圧迫し、農家所得を減少させている。														
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 第2期長野県食と農業農村振興計画(自給飼料増産プロジェクト) 県が、国庫事業の活用推進を図りながら、事業を進めることが効果的である。					県民との協働による実施: 実施は困難								
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27) 自給飼料を増産するため、次の取組を行う。 ○県オリジナル飼料作物モデルほ場の設置(県下4箇所) ○県オリジナル品種の作付拡大(20ha) ○飼料用稲の作付拡大(20ha)														
	② 事業内容 (単位:千円)														
		項目	実施方法	H27実施内容	H26(当初)	H27(要求)		H27(予算案)							
		推進事業	直接	①自給飼料増産推進会議の開催 ②モデルほ場の設置 ③飼料づくりコーディネーターの設置	2,890	2,845		2,845							
	合計			2,890	2,845		2,845								
事業コスト	区 分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越						項目	H26末(見込)	H27			H28目標		
		当初予算	8,446	11,669	2,890	2,845	2,845			目標	成果	達成状況			
		補正予算		-3,896						モデルほ場の設置	4箇所	4箇所			
		合計(A)	8,446	7,773	2,890	2,845	2,845			県オリジナル品種の作付拡大	48ha	20ha			
	Aの財源	一般財源	1,998	4,354	1,601	1,601	1,601	飼料用稲の作付拡大	86ha	20ha					
		県債													
		国庫支出金		2,730											
		その他	6,448	689	1,289	1,244	1,244								
	ト 決算額(B)	7,552	7,510												
概算人件費	職員数(人)	0.25	0.30	0.30	0.30	0.30									
	概算人件費(C)	2,065	2,477	2,477	2,477	2,477									
概算事業費(B(A)+C)		9,617	9,987	5,367	5,322	5,322									
指摘事項等への対応 <input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		(指摘事項等)					(対応)								
要求からの主な変更点		要求どおり													